

公式グッズ



①公式ろうそく
冬の屋外でも無風状態で約4時間燃え続けることができるよう工夫された特別なるろうそくです。(1袋9個入り500円)



②浮き玉キャンドル
漁の道具として使われていたガラス製の浮き玉をおしゃれなキャンドルにしました。(1個9500円)



③ワックスボウル
④ワックスボックス

会場ですつろうそくを再利用し、ボランティアの皆さんの手で一つ一つ作られた入れ物です。LEDキャンドルを入れて明かりを楽しんだり、小物入れやペン立てとして使ったり、さまざまな使い方ができます。(ワックスボウル大1個1200円、小1個500円、ワックスボックス1個600円)



⑤メッセージキャンドル
紙コップに思いを込めたメッセージを書いて明かりをともし、会場に飾ることができます。(1個100円)



販売期間：①2月16日(日)まで ②～⑤イベント開催期間中
販売場所：①「小樽雪あかりの路」公式ホームページを参照
②～④運河会場(浅草橋街園)、手宮線会場、旧色内駅
⑤運河会場、天狗山会場

ボランティアスタッフを募集しています

イベント開催期間中、写真撮影のお手伝いやろうそくの点火、回収、会場づくりなどを担当するボランティアスタッフを募集しています。1日だけ、半日だけの参加も大歓迎です。

ご協力いただける方は、参加当日に文学館・美術館に開設されるボランティア受付までお越しください。事前の申し込みは不要です。

市民募金のお願い

イベント開催期間中、セブンイレブン(一部店舗を除く)などの協力店や観光案内所には「小樽雪あかりの路募金箱」を、会場内には「小樽雪あかりの路感動支援募金浮き玉」を設置しています。

「小樽雪あかりの路」は、ボランティアの皆さんを中心に運営していますが、ろうそく・ポスター・パンフレットなどの製作費や会場の造成費など、さまざまな費用がかかります。経費節減に取り組んでいますが、依然として厳しい状況が続いています。皆さんの温かいご協力をお願いします。

天狗山会場

山頂にある天狗山神社の参道や展望台など、森林の中にろうそくの明かりがとまります。天気がいい日は、展望台から市街地の雪あかりを眺めることができ、夜景とのコラボレーションを楽しむことができます。

小樽芸術村会場

旧三井銀行や似鳥美術館など、歴史や芸術に囲まれた会場では、ろうそくの明かりを使ったアートで来場者をもてなします。

あかりの路会場

町内会や商店街、学校など市内約40カ所、市民の皆さんが思い思いの雪あかりを演出します。一部の会場では、ミニイベントやホットドリンクの配布など、独自の催しで訪れる人を歓迎します。

雪とあかりのオブジェコンテスト

イベント開催期間中に自宅や町内会などで「雪とあかり」をテーマに製作したスノーオブジェを撮影して応募いただくコンテストです。応募方法は、公式ホームページまたは公式ガイドブックをご確認ください(応募締切は2月28日(金))。

愛のフォトコンテスト

イベント開催期間中に撮影したイベント模様や街並み、人物などの写真を応募いただくコンテストです。応募作品は翌年のポスターなどに採用される場合があります。応募方法は、公式ホームページまたは公式ガイドブックをご覧ください(応募締切は3月6日(金))。

運河会場

運河の水面に浮かぶ約200個の浮き玉キャンドルや、散策路に並ぶスノーキャンドルやオブジェが、石造りの倉庫が並ぶ景観をより一層ロマンチックに演出します。思い思いのメッセージをつづって明かりをともし「メッセージキャンドル」は、会場を照らす明かりの一つとなります。8日(土)の午後6時から前夜祭を行います。

手宮線会場

散策路として整備された旧手宮線に、ろうそくの明かりがとまります。海外ボランティアや学生ボランティア、企業などが参加し、幻想的な景色を創り出す「ワックスボウルの森」などが来場者を魅了します。今回は5年ぶりにスノートンネルが復活。滑り台も登場します。

スタンプラリー「地上のホシサガン13」

会場に設置された「地上ノホシスタンプ」を、公式ガイドブックの「プレゼント応募用スタンプ台紙」に4個以上押しつけて応募すると、抽選で小樽の特産品などが当たります。

●スタンプ設置場所 運河会場、手宮線会場、朝里川温泉会場、天狗山会場、小樽芸術村会場、サンモール一番街、都通り商店街、花園銀座通り商店街
●スタンプ設置期間 2月9日(日)～16日(日)午後4時～9時

「小樽雪あかりの路」公式ガイドブック

公式ガイドブックは、2月9日までに北海道新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞に折り込まれるほか、市役所、観光案内所、JR駅(小樽駅、南小樽駅、小樽築港駅、銭函駅)、小樽駅前バスターミナルなどで配布しています。

第22回 小樽雪あかりの路が始まります

手作りにこだわったスノーオブジェや温かなろうそくの明かりが来場者を魅了する「小樽雪あかりの路」が2月9日(日)から16日(日)まで(午後5時から9時)開催されます。ぜひ会場に足をお運びください。
※降雪状況によって内容が変更になる場合があります。
◆詳細 小樽雪あかりの路実行委員会事務局 ☎411-11内線267、FAX 278600

朝里川温泉会場

川のほとりや水面にろうそくの明かりがともされ、川のせせらぎを聞きながら、明かりが揺らめく幻想的な景色を見ることができます。街中の会場とは違った雰囲気を楽しむことができ、写真愛好家も多く訪れる人気の撮影スポットです。

前夜祭

キャンドルへ点火するセレモニーやゴスペルピアノ演奏を行います。「メッセージキャンドル」を無料で配布し、訪れた皆さんと一緒に明かりをとめます。

●日時 2月8日(土)午後6時から
●場所 運河会場

バックヤードツアー

「小樽案内人」の資格を持つボランティアガイドが、「小樽雪あかりの路」誕生の経緯などを説明しながら会場を案内します。オブジェ作りやろうそくの点火作業などを見学できるほか、スノーキャンドル作りの体験もできます。事前の予約は不要です。

●実施日時 2月9日(日)、11日(火)、15日(土)、16日(日) 午後3時～4時
●受付場所 文学館・美術館